

LPガス
人と地域にスマイルを

ちば「炎の仲間」

発 行

公益社団法人千葉県LPガス協会広報委員会
〒260-0024 千葉市中央区中央港1-13-1
TEL 043-246-1725
FAX 043-243-6781
E-mail : chibalpg@chibalpg.or.jp
<https://www.chibalpg.or.jp>
毎月10日は保安の日

謹賀新年



年頭あいさつ



小倉 晴夫
協 会 長



鶴沢 宜広
筆頭副会長

新年あけましておめでとうございます。
会員の皆様には、お健やかな新春を迎えることと心からお慶び申し上げます。
今年の干支は、丙午（ひのえうま）です。
「火の要素を二重に持つことから、情熱や強さを象徴する」とされています。

日頃より千葉県LPガス協会の活動にご理解とご協力をいただき、心より御礼申し上げます。会員の皆様には、地域の暮らしを支えるエネルギー供給の現場でご尽力いただき、改めて深く感謝申し上げます。

昨年も全国各地で災害が相次ぎました。そのような中で、災害に強い分散型エネルギーとしてのLPガスの役割が、改めて注目されています。千葉県でも、自治体との連携を進めながら、防災拠点でのLPガス利用の整備を広げつつ、地域の安心を支えるための取り組みが一歩づつ前進していくことが必要だと強く感じています。

また、脱炭素社会の実現に向けた動きが加速する中、LPガス業界にもカーボンニュートラルの活用や、省エネ機器の普及促進と言った新たな課題があります。協会といたしましても、会員の皆様がこれらの取

り組みを円滑に進められるよう、最新情報の提供、人材育成、研修の充実を図り、業界全体の競争力向上に努めて参りたいと思います。

また、LPガスの商慣行是正に向けた「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律施行規則の一部を改正する省令」が昨年施行されました。それに伴う「自主取り組み宣言」が千葉県では、芳しくありませんので皆様方のご協力をお願い申し上げます。（詳細は3面の取引適正化委員会記事でご確認下さい）

令和八年が、会員各位にとりまして実り多き一年となりますよう祈念するとともに、本年も皆様と共に、千葉県におけるLPガスの安全と発展のため歩みを進めていく所存です。どうぞ変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせて頂きます。

監

理

支

相

益

謹

事

事

長

業務執行理事専務理事
執行理事

代 表 理 事 会 長
代 表 理 事 副 会 長
代 表 理 事 会 役

謹んで会員皆様の
益々のご発展とご健勝を
祈念いたします

橋石島片白伊草多高中吉小日泉笹鈴五渡原平飯田安遠金風鈴中武君鶴小高安大中木池秋鶴小横
本川田岡川藤谷田橋田野川下水田木味邊田山田村藤藤村見木島田塚岡沢木野入野内田元沢倉山
吉洋大篤友佳倫幸健和伸栄佳聖清篤貴博則泰幸忠敏元幸正秀正秀晃康賢正愛利宜晴一
弘平隆輔史一男之丸志弘豊一二裕一隆司行聰之行健郎則雄誠男夫芳男順夫造永一義郎文廣夫洋

業界最新情報は協会HPの活動便りから！

新年の御挨拶



令和8年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

貴協会におかれましては、平素より販売事業者及び有資格者に対する保安講習会などを行っていたたくとともに、災害対策基本法等に係る指定地方公共機関として、本県の災害対策の一翼を担っていただきなど、県政の推進に格別のご高配をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年に貴協会が実施された『放置等LPガス容器撲滅運動』では、平時からの取組みと比べて、多くの放置されたLPガスボンベを回収されたと伺っております。本運動による効果が大きかったものと考えております。

放置等LPガス容器の回収に取り組むことは、容器廃棄や漏えいなどに関係する災害事故を未然に防ぎ、県民の安全を確保することに大きく貢献するものと考えております。県民が安心安全に生活できるよう、今後とも取組みを推進していただきますようお願いいたします。

ご承知のとおり、LPガスは環境にやさしく、利便性が高いエネルギーですが、一方でLPガスの漏えいによる爆発や火災、不完全燃焼による一酸化炭素中毒といった重大な事故を引き起こします。特に近年は、

他工事業者による事故が多く発生しております。県としましては、今後とも貴協会と連携を図りながら、LPガスの事故防止に努めていきたいと考えておりますので、より一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

また、近年の災害の激甚化を踏まえ、国の『LPガス災害対策マニュアル』では、水害対策及び雪害対策の記載内容の充実が図られています。会員の皆様におかれましては、同マニュアルをご活用いただき、より一層の事故防止対策に取り組んでいただくよう、お願いいたします。

県としましても、安全で安心な千葉県の構築のため、引き続き皆様の活動を支援してまいりますので、よろしくお願ひいたします。

結びに、貴協会と会員の皆様の益々のご発展とご安全を祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

社会に寄与する為に



小沢 正順
総務委員会
委員長



鶴沢 宜広
総務・中核充填所
担当副会長

謹んで新年のお慶びを申し上げます。会員の皆様におかれましてはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、総務委員会は、協会運営の全てに関わる事業をまとめた大変重要な委員会であります。

「千葉県LPガス料金負担軽減支援事業」は引き続き実施しており、令和7年度は4月から5月に掛けて第3次を、8月から9月に掛けて第4次を実施しております。会員の皆様には引き続きのご協力をお願い致します。また過去に県及び県内全市町村と結んでいた「応急生活物資の協定」は、当協会の公益法人化等に伴い、千葉県と令和7年3月31日付で再締結を行い、令和7年6月からは県内54市町村と協定書の再締結に向け協議を進めています。さらにこの協議に合わせて千葉県並びに県内54市町村へ避難所となる学校体育館（避難所）における電源自立型GHP等の導入の働き掛けも実施しております。

他にもLPガスを普及するためのイベント「LPガスフェア」も引き続き「道の駅発酵の里こうざき」にて香取支部の皆様にご協力いただき、開催いたしました。

上記のような活動を通し、お客様のため、地域のために商い、喜ばれる事業を行っている会員の皆様のお役に立てるように、これからも我々総務委員会は、事業を行って参ります。

会員の皆様におかれましては、是非「オールガス化住宅」や「エネファーム」などのLPライフ（共済）販売促進支援金などをご活用の上、事業経営にお役立てて頂ければ幸いです。

結びに皆様の事業の益々のご発展とご健勝を祈念申し上げまして、新年の挨拶とさせて頂きます。

会員の皆様に必要とされる会報を目指して



高木 秀夫
広報委員会
委員長



木内 正義
広報委員会
担当副会長

謹んで新年のお慶びを申し上げます。会員の皆様におかれましてはお健やかに新年をお迎えのことと存じます。

日頃より当協会会報「ちば炎の仲間」と当協会ホームページをご覧いただき誠にありがとうございます。

「ちば炎の仲間」は紙面とホームページ上の両方で掲載しており、今年度は、「小倉晴夫協会長の旭日双光章受章について」や「LPガスの商慣行是正に向けた制度改正について」、「放置等LPガス容器撲滅運動」についてなど、様々な話題について掲載しております。

また令和7年度より会員の皆様へ、アンケートをお願いしております。このアンケートは「ちば炎の仲間」紙面のペーパーレス化についてのご意見や誌面内容の充実の為に行っております。今後も継続して実施してまいりますので、その際には是非アンケートの回答にご協力をお願い致します。

協会ホームページ上では、オンライン化

となった各種講習で用いるテキスト類や帳票類、ノベルティグッズなどを注文できるECサイト（オンラインショップページ）があります。日頃の業務やお客様へのサービスに是非とも当協会ECサイトをご活用ください。

協会のホームページには、行政の動向、全国LPガス協会からのお知らせなど皆様の業務に有用な情報がたくさん掲載されています。

また、県指定保安講習会や質量販売緊急時対応講習、テールゲートリフター（TGL）特別教育座学講習会などのお申込みもホームページ内から行えます。ぜひ利用していただきたいと思います。

結びに、皆様の事業の益々のご発展とご健勝を祈念申し上げまして、新年の挨拶とさせて頂きます。

平時から保安の確保を!



安野 晃造
保安委員会
委員長



池田 愛一郎
保安委員会
担当副会長

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては健やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。保安委員会では、「保安対策事業」・「保安・防災・減災・防犯等対策事業」・「容器

の保安対策事業」を実施しております。

我々が普段取り扱っている調整器や各種ホース類等には交換期限が設けられています。期限を過ぎたものを使い続けることで、重大な事故に繋がる恐れがあります。このような事態を引き起こすと消費者を危険に晒すことはもちろんのこと、我々ガス事業者全体の信頼も失ってしまいます。ガス業界を今後も存続させていくためにも、ガス機器の交換期限を守る事を徹底し、より一層の保安確保をお願い致します。

毎年各支部にて開催している県指定保安講習会ですが、令和7年度は前年度と同様にWEB開催(オンデマンド形式)をメインとし、会場開催はガス石油会館での2回のみといたしました。会員の皆様のご協力によって本講習会の総受講者数は、WEB

受講が803名、会場受講が67名、合計870名となりました。

また、平時における放置等LPガス容器による事故防止として「放置等LPガス容器撲滅運動」を、今回は初となる県内全域を対象として実施しました。放置容器は62本、不要容器は404本、合計466本もの容器を処理することができました。一般消費者が安全安心にガスを使っていただけるよう、我々保安委員会はこれからも事業を行ってまいります。

日頃の業務で皆様お忙しいと思いますが、一步一歩設備を改善し、保安の確保にご協力くださいますようお願いいたします。

結びに、皆様のご健勝とご発展を御祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせて頂きます。

消費者を守るために!



鶴岡 秀男
取引適正化
委員会委員長



秋元 利文
取引適正化
委員会担当副会長

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましてはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

取引適正化委員会では、適正な取引により消費者から信頼され、業界の安定かつ発

展を図り、以て地域社会の健全な発展に寄与するために活動しております。

さて、昨年4月2日に三部料金制の徹底に係る省令が施行され、無償配管等による業界の慣習も一掃されたと思います。今後は同条件のもと、顧客の満足度を高め、各販売店のコンプライアンスが求められることでしょう。

このことに関連して、一般社団法人全国LPガス協会で昨年から呼びかけている自主取組宣言を公表していない販売店がまだ多数いらっしゃるそうです。会員の宣言登録件数は150件であり、会員数の24%ほどしか達成していない状況です。当協会といたしましても、販売店の皆様に是非ともこの宣言を公表していただくよう宜しくお願い申し上げします。

また、昨年の12月には一都三県競合エネルギー対策委員会の会議が東京ガス横浜

ショールームのセミナールームで開催され、千葉県からも私を含めて4名が参加しました。その中で57年通達(東京ガスとの「基本協定書」と「保安引継に関する覚書」)の継続はしつつも立会手数料に関してはもはや時代の流れとともに形骸化しております。当委員会としても、今後一都三県競合エネルギー対策委員会において、東京ガスのバイオメタルによるカーボンニュートラル化やプロパンに空気を混合させて13Aの都市ガスを製造し臨時に供給するガス発生装置への取り組みも参考にして、県外の情報や都市ガスとの情報交換を行い、災害に強いLPガスをPRしながら各販売店に配信していく所存です。

結びに、皆様方の益々のご発展とご健勝を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

スタンド業界のこれから



泉水 栄二
スタンド委員会
委員長

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、お健やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日頃より事故防止に努めて頂き誠に有難う御座います。

さて、昨年を振り返りますと初めての女性総理大臣が誕生しました。そして年末にはガソリンの暫定税率が廃止されました。オートガスはガソリンより安価であることが絶対条件ですので、自動車支部会員には

大きな出来事です。それでも価格差異はまだ大きくあります。

最近のタクシーはタブレットやアプリ、決済端末など経費がかかるため、燃料費を抑えるためにオートガスを選択するでしょう。現在LPガス車は全国で15万台以上あります。その中にジャパンタクシーが5万台と3分の1となっております。都市部ではジャパンタクシーへの代替えが進んでおり、東京都内ではジャパンタクシーが新車へと代替えされていて、耐久性に優れたタクシー専用車両です。

また、昨年秋には東京都内で水素タクシーの稼働が始まりました。東京都が手厚い補助金を出しており、3年で600台普及させるとしております。使用する車両は800万円もするクラウンセダンで、車長が5mもあり床下にタンクを設置しているた

め、床が大きく突起していて後部座席に3人乗るには適しておりません。しかし、ほぼ補助金で賄えるため東京都だけはある程度普及すると思いますが、他の都道府県には普及する事は無いでしょう。それにインフラの整備が追いついていません。

以前、東京都がCNG(圧縮天然ガス)車を普及させましたが、現在はほぼ無くなっています。水素はどうなるのかは数年経ってみると分かりませんが、CNGと同様に圧力が高いので、オートガスに戻って来るのはないかと個人的には思っております。オートガススタンドは重要なインフラでございます。

結びに会員皆様方の益々のご発展とご健勝を祈念致しまして、新年の挨拶とさせて頂きます。

相談にはまごころを込めて対応



中野 賢一
相談所委員会
担当副会長

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましてはお健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて当相談所委員会は昭和63年より

相談所を全国に先駆け開設し、平成元年から経済産業省資源エネルギー庁の補助事業として協会事務局内にお客様相談所を設置し、一般消費者からの電話やメールなどによるLPガス全般の苦情や相談への対応並びに当該内容に対する液化石油ガス事業者への指導並びに支援を実施しております。

相談内容としては悪質なガス切替の勧誘行為、LPガス料金の価格、不要容器の処理方法、また、昨今増加している点検詐欺電話への対応方法など多岐にわたります。

また定期的に委員会を開催し、いただき

た相談内容を基に小倉会長、弁護士、県産業保安課、県消費者センターの委員にて議論して適切な対処方法を共有しております。

また、毎年2回読売新聞に広告を掲載し、相談所に開設を広くPRしております。今後も消費者にLPガスを安心・安全に使用していくだける様に努めて参ります。

結びに皆さまのご健勝とご発展をご祈念申し上げるとともに今後も当委員会へのご協力をお願いし、新年のご挨拶とさせて頂きます。

中核充填所の誕生について



伊藤 友一
中核充填所
委員会委員長

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、お健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また日頃より中核充填所委員会の活動にご協力いただき御礼申し上げます。

2026年は東日本大震災発生から15年目の年になります。ここで中核充填所が誕生した背景と役割について紹介させていただきたいと思います。中核充填所が設けられた背景には東日本大震災においてLPガス

が災害時に強いエネルギーであることが実証された事にあります。被害のなかった家庭などでは災害当日より利用でき、避難所における炊き出し、仮設住宅のエネルギー、LPガス車の燃料として大いに活躍しました。一方、LPガス供給体制については課題が多く、LPガスの在庫があるにも関わらず停電の為、充填・出荷ができなかったり、電話やインターネットが使用困難な状態になり、地方自治体との連携が上手くできなかつたことが課題として露呈しました。このような供給面の課題解決を図る為、非常用発電機、衛星電話の設置、LP車の配置等、災害発生時LPガスの強みを最大限に活用する為に中核充填所が誕生しました。今では全国約340か所が中核充填所に認定されており、千葉県では10か所が認定されています。

同様の災害が千葉県で発生した場合でも

LPガス供給を継続させる為、当委員会でもしっかりと準備を行って参ります。

毎年1回、中核充填所稼働訓練を行っております。昨年は10月29日㈱ファインエナジー千葉営業所にて実施。千葉県、自治体、消防、当協会の各支部の協力のもと県内すべての中核充填所が参加し、県内で最大震度7の地震が発生し全域での停電を想定した状況で訓練を行いました。非常用発電機を稼働させLP容器への充填、容器の積込み、衛生電話での通信、近隣避難施設へのLPガス配送、炊き出し訓練を実施しております。

今年も災害に備え、緊張感をもって関係各位ご協力のもと準備に努めて参りたいと考えております。

結びに、皆様のご健勝とご発展を祈念申し上げるとともに当委員会へのご理解、ご協力をお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。

視野を広げた未来の企業へ



片岡 大輔
青年委員会
委員長

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

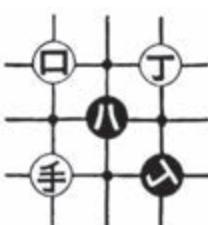
日頃より青年委員会の活動にご理解とご協力をいただき深く

感謝申し上げます。

当委員会は、次世代を担う者の企業経営者としての資質の向上に努めることを目的とした活動をしております。令和7年には「ハイブリット給湯器のご説明～これからの新しい暮らしのスタンダード」と題して、株式会社パロマ千葉営業所の出口裕章様と瀧本裕也様による勉強会を実施しました。この内容は青年委員会内でカーボンニュートラルへの関心が強まり、最新の給湯器の省エネ化がどれほど進んでいるかを知りたいとの意見が出たことにより決定しました。

また当委員会は「火育」を継続事業と位置付けており、昨年度より本格的な活動を再開した「炎の出前教室」は、令和8年2月21日にも開催予定です。子供達からの反応も大変良く、火がついた時には子供達と一緒に我々も笑顔になってしまいます。会員の皆様のご近所の小学校のご紹介・ご依頼があれば、是非青年委員会までお知らせください。

結びに皆様の商売繁盛とご健勝を祈念し新年のご挨拶とさせていただきます。



謹んで新春をお祝い申し上げます。旧年中は、広報委員会の一員として大変お世話になりました。本年も広報委員会をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

自分事ではありませんが、毎年恒例の伊勢神宮に初詣でに行ってまいりました。

1月1日の初詣時間によると思いますが、参拝の方々の人数が、少し少なくなつたような気がします。

1月31日の18時頃、自宅を出発して2時間おきに休憩を取り伊勢神宮内宮に12時過ぎに到着、おかげ横丁を通り伊勢神宮内宮の鳥居の前に出ます。一礼し宇治橋を渡り右に曲がると、どんど火(大篝火)が見えてきます、参拝者のために暖を

取る場所になります、直径5メートルの火が燃やされます。寒い夜には大変助かります。

五十鈴川で手を清め御正宮に、昨年お礼と今年の世界の平和と平らに過ごせるようにお願いをし、赤福をお土産に買って、無事帰宅しました。今年も少し頑張ろう。(笑)笑う門には福来る。

吉野 和弘 記

空家の充てん容器は必ず撤去しましょう！